

「次工程はお客様」－すべての行動が未来をつくる

平素より、株式会社サンフーズジャパンの事業活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

皆様の温かいご協力のもと、第 41 期も折り返しを迎え、私たちは新たな一步を踏み出すことができました。

2030 年の経営ビジョン達成に向けた「ビジョン実現プロジェクト for2030」の始動から半年が経過し、社内では着実な変化が芽吹き始めています。

このプロジェクトは、サンフーズジャパンの未来を形づくるための大切なミッションです。前回の「for2025」で築いた土台をさらに進化させ、今回は各部門のリーダーが自ら責任を持って、経営戦略に沿ったアクションプランの立案・構築に取り組み始めました。

この動きは、単なる計画づくりではなく、従業員一人ひとりが「自分たちの手で未来をつくる」という意識を持ち、主体的に行動する文化を育てるための挑戦でもあります。

またこの下期には、未来をつくる具体的な取り組みとして、4 つの重要施策に取り組んでまいります。

① 製造機能の強化と事業領域の拡充

安心安全なものづくりのための設備改修・増強を通じて、新たな製品開発に対応し、すべてのお客様の暮らしに寄り添う食品づくりを加速してまいります。

② 人財育成と組織力の向上

リーダー研修・ネクストリーダー研修の継続実施に加え、2024 年から復活した社内コミュニケーション活性化プロジェクト Ver.2 を始動。

③ 従業員との対話を推進

9 月から 3 年ぶりに従業員面談を再開し、年内に全社員との対話を完了予定です。この取り組みは、従業員一人ひとりの声に耳を傾けると同時に会社が目指すビジョンを従業員の皆さんに私自身が語ることで、共に歩む姿勢を改めて確認する大切な機会となっています。

④ 安全・安心な労働環境の整備

気候変動や災害リスクに備え、柔軟で安全な職場づくりを推進。従業員の安心が、品質と信頼の礎になると考えています。

- ⑤ DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による業務効率と情報基盤の強化
システム構築を通して、業務プロセスの見直しとデータの一元管理を進め、迅速かつ的確な意思決定を支える体制を構築中です。

期初にもお伝えしました通り、今期、私たちは「次工程はお客様」という指針を掲げました。この言葉には、製造工程に限らず、すべての業務において「次に受け取る人＝お客様」という意識を持ち、誠実に、丁寧な仕事に向き合うという強い思いが込められています。創業以来受け継がれてきた「サンフーズジャパンはお客様のためのサンフーズジャパンです」という志を、今一度胸に刻み、すべてのステークホルダーの皆様にご貢献できる企業であり続けたいと願っております。

ひとつひとつの取り組みを誠心誠意、心を込めて実行し、成果につなげていく覚悟が「サンフーズジャパンのプライド」です。

私たち一人ひとりの行動が、未来を創る力になると信じ、これからも、全従業員と心を一つにして、歩んでまいります。

引き続き、温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年10月1日

吉田武史